

常設展示

**ヴェネツィア貴族の宮殿を再現
四季の暮らしのご紹介**

各展示室では、季節感を演出し、宮殿そのままの家具調度品や、貴族の食卓を再現したヴェネツィアガラスによる豪華なテーブルコーディネートを表示致します。併せて、ヴェネツィアの四季の歳時や行事、旬の話題をご紹介致します。2018年のリニューアルで、マルコ・ポーロの時代をイメージした『書斎』、18世紀頃のトイレや浴槽を再現した『バスルーム』など新たな部屋が加わりました。また、館内全体に家具調度品が増え、“貴族の宮殿”の機能性や華やかな生活、当時の様子がより再現され、さらに充実した展示をご覧頂けるようになりました。

16～18世紀当時の宮殿の機能性の再現をそのままに、四季ごとに展示替えを行ない、貴族の豊かな暮らし、美しいガラスの世界をご紹介します。

春の宮殿



<家族の食堂>



<書斎>

夏の宮殿



<貴族の食堂>



『バラが彩る夏のテーブル』

秋の宮殿



<宝の間>



『収穫の秋を象徴するレモンのテーブル』

冬の宮殿



<バスルーム>



<貴族の食堂>
『天使が微笑むディナーテーブル』

特別展

2022年1月25日(火)～5月23日(月)

<ルチオ・ブバッコの世界>

—躍動する表現力 命が宿るガラスの物語—



「女王の宮殿の宴」



「アニューマン」



「ロミオとジュリエット」

ブバッコの作品の世界観に欠かすことのできない「人間の身体の美しさ」を極限まで表現したシリーズ『白鳥の湖』と『ロミオとジュリエット』、精神の深層を題材にした幻想的な世界や、ヴェネツィアの伝統行事「カーニバル」など、ガラスとは思えないほどの繊細さ、ヴェネツィアガラスの特長である色彩の豊かさが存分に発揮された、「ルチオ・ブバッコの世界」をどうぞ堪能ください。

5月24日(火)～9月5日(月)

<ヴェネツィアガラスの水族館>

きらめく 海の宝石



アルフレード・バルビーニ作
「ガラスの中を泳ぐ魚」



ヴィットリオ・コスタンティニ作
「海の宝石」



ピノ・シニョレット作
「貝」

アドリア海最深部のラグーナ(潟)の上に築かれたヴェネツィアで生まれ育ったガラス作家達は、ラグーナや海と関わりが深い生活環境の中で幼少期を過ごしてきました。その影響もあり、魚やイルカなど、海に関連した様々な生き物が題材となり、数多くの作品が生み出されています。本展では、ヴェネツィアをとりまく豊かな自然からインスピレーションを受けた、優れたデザイン性と高度な技術により制作された色鮮やかで美しい作品をご紹介します。

9月6日(火)～12月5日(月)

<モダンガラス展>

ヴェネツィア一千年の伝統と革新



ピノ・シニョレット作
「天使」



アルキメデ・セグーゾ作
「女性像」



サルビアティ工房作
「DAMA(貴婦人)」

ヴェネツィアガラス一千年の歴史の中で、ガラス作家達は時代と共に様々な作品を生み出してきました。本展では、伝統技法と革新的なデザインを融合させ、優れた技術により制作されたモダンアートガラス作品の数々をご紹介します。ヴェネツィアガラス界の巨匠アルキメデ・セグーゾやアルフレード・バルビーニ、ピノ・シニョレットの作品をはじめ、VENINI工房やサルビアティ工房など、芸術性の高い作品をご堪能いただけます。

12月6日(火)～2023年3月6日(月)

<レースガラス展>

ガラスの糸が紡ぐ 美しきレースの世界



エリーテ・ムラノ工房作
「噴水型フルーツコンポート」



エリーテ・ムラノ工房作
「レティチェッロの水差しとボトル」



エリーテ・ムラノ工房作
「白鳥の飾り脚ガラス」

16世紀に最盛期を迎えた「レースガラス」は、門外不出の秘法として優れた腕を持つガラス職人のみが代々受け継いできました。現代においても、制作の難しさから、美しく繊細な模様を作り出せる熟練した職人はほんの数名しか存在しません。本展では、高度な熟練技術を擁するガラス職人によるガラスやコンポートなど、レースガラスの三大技法を駆使して制作された美しいレースガラスの世界をお楽しみいただけます。

<春の特別展>

詳細が決定次第お知らせ致します。

企画展

5F企画展 <ガラスモザイク絵画展>

ゴッホの絵をモチーフに制作されたガラスモザイク絵画を展示致します。作品は全て当館のオリジナル収蔵品で、イタリア・ラヴェンナ市の専門工房に依頼して制作致しました。季節ごとに、全26点の中から作品をご紹介します。

